

岩手山北西側の最近の山体変動 (2001 年～2004 年 5 月)

1998 年の岩手火山の活動後の山体変動を調べるため、連続 GPS (1 周波) 観測を実施している。岩手山北西側の SMK と MTK (図 1) の 2001 年～2004 年 5 月までの観測結果を報告する。

2003 年 8 月までの観測データに基づく前回の報告期間では、SMK と MTK は、NKH に対して年 1.3～1.5cm で南進したが、今期のデータ追加によると、その後これらの変化はほぼ停止したようである (図 2)。上下成分の変化も、冬期間のデータのみで比較すると、前回報告では年 0.6～1.8cm の沈降傾向が認められたが、今期、ほぼ停止した (図 2)。SMK に対する MTK の年 1.1cm の沈降も、同様に停止した (図 3)。

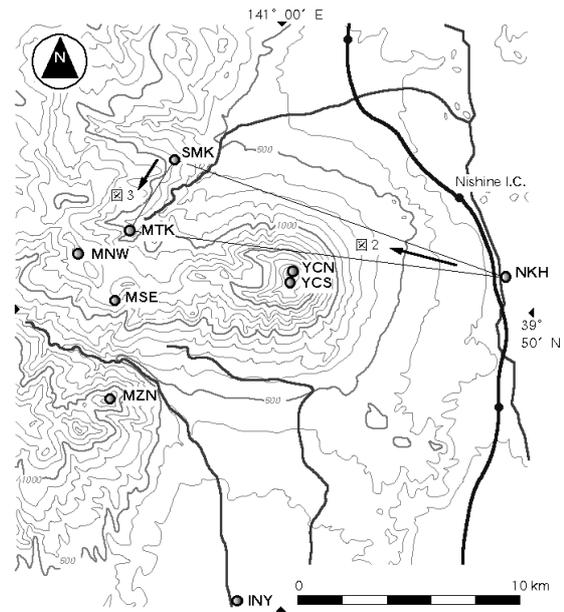


図 1 観測点配置および測線

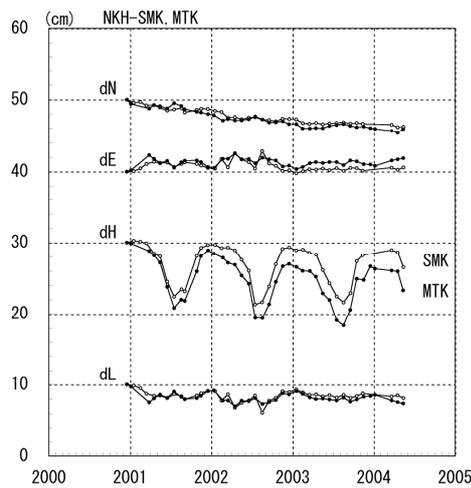


図 2 NKH 基準の SMK と MTK の相対変位

* グラフは月平均値をプロット

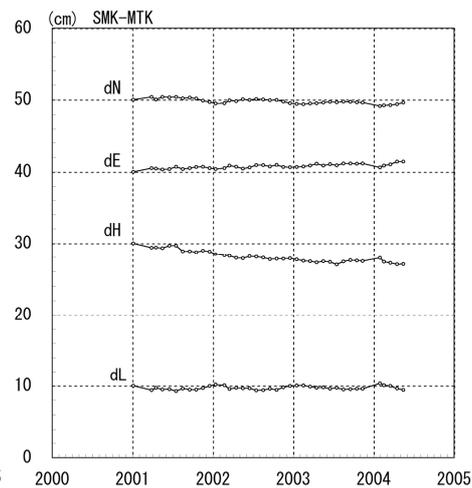


図 3 SMK 基準の MTK の相対変位